

令和3年3月24日

令和3年
第1回野洲市議会定例会
決 議 書

野 洲 市 議 会

決議第3号

病院整備事業をはじめとする市政全般の政策決定に対する決議(案)

上記の議案を提出する。

令和3年3月24日

提出者 野洲市議会議員 橋 俊明

賛成者 野洲市議会議員 岩井 智恵子

賛成者 野洲市議会議員 坂口 重良

賛成者 野洲市議会議員 山崎 敦志

賛成者 野洲市議会議員 田中 陽介

決議第3号

病院整備事業をはじめとする市政全般の政策決定に対する決議（案）

市政全般の政策決定プロセスの透明化や政策の根拠の明確化などは、民主主義が正しく機能するため必須要件である。

また各種事業を進めるにあたっては、当該事業の将来像やビジョンを明確にすることは、事業の成否を決し、ひいては市政全般にも大きな影響を及ぼす重要な要素である。特に、病院整備事業は長年の課題であり、野洲病院の深刻な老朽化や高齢人口の増大など、市の状況を鑑みれば猶予のない懸案であると共に、命と健康を守る医療体制整備は、市民の切実な願いでもあり、一日も早い、野洲市の状況にふさわしい整備が求められている。

したがって今後の市政運営においては、プロセスの透明化や、ビジョンの構築と根拠の明確化など、行政の土台となる「方針」を構築し、市長自ら率先してこの方針に則ってリーダーシップを発揮して野洲市の発展に取り組むべきであり、ここに議会の意志として決議する。

以上決議する。

令和3年3月24日

野洲市議会

令和3年3月24日

令和3年第1回野洲市議会

定例会 発議書関係資料

野 洲 市 議 会

提案理由

「分断から協調へ」をスローガンに掲げ、多くの市民の期待を集め市長は当選された。しかし、これまでの市政運営及び政策決定においては、そのプロセスやビジョンが見えず、議会にも結論のみという対応が繰り返され、質疑への答弁も論理性、整合性を欠くものであった。

議会が市の意志決定を行う際、こうしたビジョン等は重要な判断材料であると共に、事業の成否という観点からも重要な要素である。

今般、有志議員の要請書への回答において、市長は透明性の担保、医療ビジョンの基本的維持及び今後の方向性、新病院の立地場所選定に対する柔軟な検討などについて回答された。この回答への評価は満足とは言えないまでも、一歩踏み出したと理解できる。

従って、今後の市政全般の政策決定、及び市政運営に期待すると共に、重要な方針、方向性について議会の意志を示すため本決議案を提案する。